

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(伊目小)学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

持続可能な地域と共にある学校づくり

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

学校長から学校運営の基本方針について詳しく説明があり、伊目地区に根付いた、地域と共に伊目っ子をみんなで育てるという共通理念が共有され、伊目の宝である子供たちのためにと、委員同士で充実した熟議ができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

学校運営の基本方針を踏まえ、児童数が減少する中で三世代交流事業、生き生き学校等の伊目小・伊目地区にとって大切にしていける行事をどのように継承していくか、委員で熟議することができた。

初めて委員になった方にも学校運営協議会の目指すところ、熟議の視点をもっと明確にして、熟議に積極的に参加し、意見を述べ合うことができるようにしたい。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

地域・学校・保護者との密接な連携のもと、子供たちを育てる環境を整える等また、伊目小学校三世代交流事業の伝統を守るため、各委員が屈託のない意見等を述べる中、伊目小C Sだよりや伊目小だより、自治会の回覧等を通して、十分な情報発信を行えたものとする。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 今年度同様に、来年度へ向けて「地域と共にある伊目小学校」を盛り上げていくために、少子化に伴う対策、改善をしながらよりよい環境の構築を目指す。
- 児童の減少、児童を支える大人の固定化等様々な課題を抱える中、学校、保護者、地域の連携をどう進めるか、委員全員の考えを聞きながら意見を集約し、次年度の目標に向けて熟議を重ねていく。